

リレートーク
relay talk

党市・青年部長
中村 あさと

青年の集いで

雇用環境、原発再稼働など 盛り上がりました



先日、3回目の「青年の集い」を開きました。参加者は4人でしたが、若者の働く環境や原発の再稼働についてなど様々な疑問が出されました。話題の中心は働く環境が悪いことについて、なぜこんなに働きにくいのかという事でした。参加した男性は職場の6～7割が有期雇用で1年ごとの細切れで契約を繰り返し、5年も働いている人がいる。正社員にすればいいのに、と話していました。また、年金の話になると、高齢者の立場からの視点で語られることが多い。しかし、実際に制度を支える若い世代の多くが非正規で働いている現状を、取り上げられる事が少ないので疑問を感じていると話されました。

政治についても頼りないと感じているそうです。しかし、自分たちの世代がもっと政治に興味を持ち関わっていかねばならないと感じている。と言うことでした。

もう一人の女性参加者は、以前働いていた職場では組合の執行部をしていて、一時金の取得など色々な要求の実現に力を入れたそうです。その後努めた会社では、採用が決まってから二ヶ月間自宅待機だった。しかもその間は、健康保険の支払いは自分で支払うよう言われたそうです。この会社でも、以前の経験を活かし、改善に努められたそうです。その後、補助金の打ち切りを理由に再契約を断られたそうですが、契約期間満了での退職に係わらず、退職理由が自己都合とされたそうです。これは、失業保健の給付期間に関わる問題ですし、できる限り力になりたいと思います。

その他の話題では原発問題で、エネルギーや原発の再稼働、安全性について話が盛り上がりました。

今回の「つどい」で、色々な疑問や意見を聞いたことは本当に有意義で参考になりました。今後こうした、「つどい」を何度も開き、色々な角度から幅広い意見を聞いていきたいと思います。

のり子の週間予定

- 4月20日 市駅前早朝宣伝、団体訪問
- 21日 地域訪問、介護学習会
- 22日 会議
- 23日 地域訪問、宣伝活動
- 24日 老人会（伏虎クラブ）旅行
- 25日 地域訪問
- 26日 無料生活相談日、つどい



「国保と介護保険で年金の12.5%…これで消費税あげるとは！」

4月27日夜7時から和歌山市民会館で、こくた恵二衆議院議員を迎えて演説会が開催されます。ぜひ多くの皆さんにご参加頂きたいと思っております。

先日、砂山地区で茶話会が開かれ16人の方がつどいしました。最初に和歌山1区候補のくにしげ秀明さんや市議団事務局の中村朝人さん、私奥村が挨拶しました。お茶とお菓子を頂きながら、元市議の大畑さんの進行で怒りと和やかさの入り混じった有意義な会となりました。ある女性の方が「年金収入200万円ほどなのに国保料1期分18600円、年間18万6千円の負担に加えて介護保険料を合わせると12.5%の負担、これで消費税を上げ

総選挙勝利へ！ 茶話会で語りあう

るなんてとんでもない話」と言うのと、怒りの声が相次ぎ、「年金も低すぎる、もっと増やしてほしい」とまるで全員合唱になりました。

そこで、くにしげさんから増税しなくても財源があることや社会保障を充実させるためには税金の無駄使いをやめ、大企業や大金持ちに自分の負担をもらうことなど提案されました。「共産党の言う通りだと思いがどうして支持が増えないのか、共産党アレルギーをなくすのにどうしたらええか」と、皆さんいっしょに悩んでいた。大変心強く感じました。

今年7月には党創立90周年を迎えます。読者のみなさんはじめ、多くの方の支えにゆえ、総選挙勝利のためにパワーアップしてまいります。

(写真・立っている人がくにしげ秀明氏)

投稿

城北後援会 I・Kさん

市役所に踏み絵持ち込むならず者
祝う日の 口元チエック 蛙鳴く
春疾風はつとハシズム消えにけり
(前号の「すし屋さんで見かけた風景」に関連する句と思われまます)